

☆モザイクアート完成☆～「今」と向き合う～

コロナウイルス感染症にともなう臨時休業中を活用して、「#コロナを乗り越えろ」をテーマにメッセージカードを1人1枚作成しました。そして、生徒148名+2年部教員+校長先生、教頭先生のメッセージで「今！」という文字をモザイクアートとして完成させました。

「今」の現状を受け止める。

「今」だからこそできることを考える。

「今」しかできないことをやり遂げる。

「今」こそ一致団結。

「今」があったから・・・と思えるように。

「今」と向き合う。



この「今」の一文字にたくさんの思いが込められています。一人一人の思いやりのこもったモザイクアートとなりました。今なお、都心部ではコロナウイルス感染症の猛威はとどまることを知りません。尾道に住む私たちも人ごとではなく、コロナウイルス感染症対策を徹底して行っていきましょう。

「わかる授業」「できる授業」の創造に向けて

26日（金）に第1回校内研究授業が行われました。2年生は2年A組で理科の授業が行われました。今年度、高西中学校では昨年度から取り組んでいる「特別活動（学活）」と教科の授業については「探究的な授業」「学習のめあてと振り返り」を大切にしたい授業づくりに重点をおいて取り組んでいます。今回の理科の授業では「二酸化炭素の中で燃えるマグネシウムの秘密」について原子のモデルを用いて探究する授業を行いました。



他の意見をききながら、これまで学習したことや生活体験と関連付けて理由づけできる場面が多かったです。そして今までの「二酸化炭素の中で物は燃えない」という考えから、原子モデルを用いて自分なりの考えを導いた先に「わかった」という達成感を感じることができた人も多かったのではないかと思います。参観された先生方から、A組のみなさんの頑張りをいろいろな先生方からお褒めの言葉をもらいました。

授業後は、先生達の研修が行われました。「わかる授業」「できる授業」をつくるために先生達も学び続けます。

美しい環境が、安心した環境をつくる！

毎日たった10分の掃除。その掃除をどんな思いで取り組んでいますか。自分たちの生活する場所を責任を持って自分たちの手で掃除する。その一人一人の行動が安心した生活環境をつくれます。多くの生徒が一生懸命取り組んでいます。中でも、2階の女子トイレの掃除に驚かされました。ソックスを脱いで、必死に床をこすったり、便器を磨いたり・・・「ほんまにすごいね。ありがとう」と言う「そうじ、楽しいんで」と一言。こんな素敵な場面に出会えました。まだまだ多くの人のがんばりがあります。毎日の掃除を大切にしていきたいと思います。

